

人材育成
講演会

組織を動かし、 世界を変えた 半導体開発の軌跡

ゼロから世界トップシェアを成し遂げた
異分野挑戦と東三河の可能性

2026 12.17 Thu. 15:00～17:00 (14:30開場)

参加費
無料

開催
会場

穂の国とよはし芸術劇場PLAT
アールスペース
(愛知県豊橋市西小田原町123番地)

定員 会場200名 (オンライン視聴あり)

講演
内容

世界を変えた半導体(薄膜磁気センサ)について、専門的な技術論にとどまらず、予算不足や周囲の不理解といった「社内の壁」を克服したプロセスや、世の中にないアイデアを粘り強く育て世界的なインフラへと成長させた歩みなど、開発プロセスにおける実践的なエピソードを中心にお話します。

【所属】公益財団法人野口研究所 学術顧問／元 旭化成株式会社 グループフェロー／元 豊橋技術科学大学 特命教授

講師紹介

旭化成工業(現 旭化成)に入社。
化学メーカーにおいて当時は異分野であったエレクトロニクス分野(磁気センサ)の研究開発を一貫して主導。超小型モータの精密制御に不可欠な「薄膜磁気センサ」の開発・商用化に成功し、世界トップシェア(約70%)へと育て上げた。
開発された薄膜磁気センサはPCや家電、自動車などに幅広く採用され、開発以来40年余で500億個を超えて使われている。同氏が中心となって主導した開発業績は、世界最高峰の技術的顕彰である「IEEEマイルストーン」に認定されたほか、紫綬褒章を受章。豊橋技術科学大学特命教授を務めるなど、東三河地域における半導体・エレクトロニクス分野の人材育成と産業振興にも大きく貢献している。

略歴・主な受賞等

- ・1971年 東京教育大学(現 筑波大学)大学院博士課程修了(理学博士)
 - ・1974年 旭化成工業株式会社(現 旭化成)入社
 - ・2003年 紫綬褒章 受章(高感度InSbホール素子の開発)
 - ・2009年 公益財団法人野口研究所 学術顧問(現職)
 - ・2009～2016年 豊橋技術科学大学 特命教授
 - ・2018年 山崎貞一賞 受賞(材料科学技術振興財団)
 - ・2026年2月「高感度InSb薄膜ホール素子の商用化」(旭化成)がIEEEマイルストーンに認定
- ※IEEEマイルストーンとは1983年にIEEE(米国電気電子学会)により創設された制度で、電気・電子の広範な分野において達成された画期的なイノベーションの中で、開発から少なくとも25年以上経過し、社会や産業の発展に多大な貢献をした歴史的業績を認定するものです。



柴崎 一郎氏
(しばさき いちろう)

[主催] 社会人キャリアアップ連携協議会

[共催] 豊橋市、豊橋技術科学大学 [後援] 田原市

社会人キャリアアップ連携協議会事務局(東三河新事業振興協会内)
愛知県豊橋市西幸町字浜池333-9

TEL.0532-44-1111 / careerup@hnpa.or.jp

[社会人キャリアアップ連携協議会構成団体]

東三河県庁、東三河広域経済連合会、豊橋市、豊川市、田原市、豊橋技術科学大学、愛知大学、豊橋創造大学、豊橋信用金庫、東三河新事業振興協会

お申し込み方法 >>>

詳細・お申し込みは二次元コード
もしくはURLよりご確認ください



<https://careerup.sharen.tut.ac.jp/news/2026/5890.html>